

## 1 基本方針

# 信頼と活力ある学校づくり

### (1)「笑顔いっぱい 友だちいっぱい」の学校として

「活力ある学校」は子どもや教師の笑顔であふれている。そこには、日々の授業にワクワクしている子どもやイキイキしている教師がいる。学習活動が生動し、学校の様子はキラキラしている。そのような学校を、全教職員の力を集めて具現化していきたい。

### (2)「情報発信」の学校として

地域の学校として「信頼の確立」を念頭に、ホームページや学校・学年だより等で、教育活動の状況や学校評価等を説明・公表し、保護者や地域住民から信頼される開かれた学校づくりを進めたい。

## 2 教育目標（「よく考える子」「なかよくする子」「がんばりぬく子」と教育理念

「子どもは地域で育つ」という視点をもって、子どもの「生きる力」の基礎を培い、「学びの質」を高める初等教育を追求したい。また、以下の(1)(2)(3)のめざす像を教育理念にして、子どもも教師も共に学び合い、伸び合う教育活動を推進したい。

学校の教育目標は、子どもを中心にして、「(1)めざす子ども像」に記述した三点とする。

### (1)めざす子ども像「ワクワクしている子ども」

よく考える子 ----- 深く考えて、学び育ち合う子

なかよくする子 ----- 思い合い、助け合う子

がんばりぬく子 ----- 心身ともに、たくましい子

### (2)求める教師像「イキイキしている教師」

子どもを見つめる先生 ----- 課題を見だし、よさを伸ばそうとする教師

子どもと共にいる先生 ----- もの、ひと、ことと関わらせる教師

自らを磨こうとする先生 ----- 生涯にわたる学習を追究する教師

### (3)めざす学校像「キラキラしている学校」

子どもにとって ----- 生きがいとやりがいのある魅力的な学校

保護者にとって ----- 子どもを学ばせたい地域の学校

地域にとって ----- 地域ぐるみで子どもを育てる学校

教職員にとって ----- 同僚性を発揮し合う学校

## 3 学校経営の重点目標（「認める」「ほめる」「励ます」基本姿勢をもって）

### (1)基礎学力の定着と表現力の育成

（わかる授業の創造と基礎・基本の徹底、対話の重視とことばの教育の推進、道徳、総合的な学習の時間、特別活動の充実等）

### (2)豊かな心の育成と健やかな体づくり

（「もの・ひと・こと」との主体的な関わりをもたせた体験活動や学習の展開、こころの教育の推進や基本的な生活習慣の確立、健康教育と体力づくりの推進等）

### (3)保護者・地域から信頼される開かれた学校づくり

（情報公開と開かれた学校づくり、安全教育・安全管理の充実、教職員の研修の充実と指導力の向上、幼小中連携を大切にした「多田小学校の教育」の創造等）

## 4 学校経営の具体的内容（重点目標に対する取り組み）

### ワクワクしている子ども

#### (1) 自分が大好きな子ども

自己の個性や特性を生かし、強い意志をもって何ごとにもチャレンジする子ども。

#### (2) 友だちが大好きな子ども

やさしさと思いやりをもって、お互いに尊重し合い、助け合う子ども。

#### (3) 学校や先生が大好きな子ども

楽しく学校生活が送れ、学びかたを体得しようとする子ども。

#### (4) ふるさとが大好きな子ども

地域社会の生活ルールを守り、自然環境を大事にしようとする子ども。

## イキイキしている教師

### (1) 学年・学級経営の充実を図る

一人ひとりが認められ、心の通い合う学級づくりを進める。  
意図的・計画的な学級経営をし、魅力的な学級生活を創る。  
気にかかる子どもへの配慮を大切にし、家庭との連携を図る。

### (2) 学力の定着と表現力の育成を図る

体験的・課題解決的な学習等指導方法を工夫し、一人ひとりの主体的な学習を促す。  
対話の重視とことばの教育の推進を図り、コミュニケーション能力の育成に努める。

### (3) 「同僚性」を発揮して、学び合いを究める

「学び」を重視した校内研修に努め、指導の独自性を高め合う「同僚性」を構築する。  
「子どもの学び」に向けた指導力の向上を図るために、研究・研修を奨励し支援する。  
「深く考え、生き生きと学び合う子を育てる」ために、基礎・基本の力の定着を図る。

## キラキラしている学校

### (1) いのちを最優先する学校経営

子どもたちとふれあう時間を大切にし、温かい教育相談や生活指導を行うとともに、生活指導部や学年を中心に、基本的な生活習慣の確立と社会規範意識の醸成に努める。  
特別支援教育の充実を図り、子どもの障害の種別に応じた多面的な見かたや支援方法を追究する。

かけがえのない子どものいのちを守るために、安全教育や健康教育を中心にして、交通事故・校内事故・不審者侵入事件等へ万全の備えをし、指導にあたる。

食物アレルギー等を有する子どもが安全で楽しく給食をとることができるように、校内での指導体制を整備し、保護者や主治医との連携を図りつつ、その対応に努める

### (2) 学校らしい「学舎」としての環境の整備

学習環境の重要性を認識し、子どもや教職員が額に汗して、美しい学校づくりや整った教室づくりを行う。

学校予算を計画的に配分し、教育環境をよりよいものへ改善するとともに、予算管理、物品管理、施設管理等を適正に行う。

### (3) 学校を開き、「地域の学校」としての教育を推進する

地域に根ざした教育を進めるために、「学校評議員会」からの提言や「学校評価」など、保護者・地域の声を学校運営に生かす。また、学校安全協力員の方々に協力をお願いし、地域ぐるみで子どもたちの登下校の安全を確保する。

ふるさとを誇りに思う子ども、孤立化しない子どもを育てるために、地域の教育力を生かした教育活動の推進(地域講師の招聘等)を積極的に進める。また、子ども会や異年齢の交流、お年寄りとの交流、地域の祭りや行事に積極的に参加できるよう支援する。

「地域の学校」として、特色ある教育活動を推進する。

問題解決的な学習や体験的な学習を充実させるために、教科発展型の総合的な学習を工夫し、3・4年の体験的な環境学習や5年自然学校の実施、5・6年の兵庫型教科担任制(三学期の実施)や外国語活動、食育・安全・防災教育等の活動を推進する。命の尊さを学ぶ「平和集会」や楽しく遊ぶ「ふれあい集会」、成長を祝う「はばたき集会」など、子どもたちの自主性を育てる充実した学校行事を創造する。

情報教育としてのコンピュータ活用は6年間の指導計画を作り、指導の重なりがないようにするとともに、情報リテラシーを育む教育を実施する。

道徳教育を充実させるために、兵庫県の副読本を活用しながら、道徳的価値の自覚、伝統や文化に関する教育の充実を深める授業を実施する。

校外児童会や地区別集会など、たてわりの地域・班活動を進め、子どもと教師、子ども相互の温かい人間関係を育む。

地域の野畑、猪名川、多田神社(文化財)との四季折々の関わりを大切にし、豊かな感性と地域愛を育成する。

多田中学校や多田東小学校、多田幼稚園とのつながりの中で、地域の子どもとして、将来に生きて働く子ども独自の「学びの力」をつける。

以上の基本方針をもとに、それぞれの教職員が連携・協力して、教育目標の達成に努める。また、保護者や地域に、ホームページや学校だより、学年だより等をとおして、学校での取り組みを発信し、公教育への理解や協力を求めながら、学校への「信頼の確立」をめざしたい。